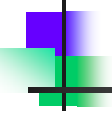


## XMLコンソーシアム 新年度部会活動のご紹介



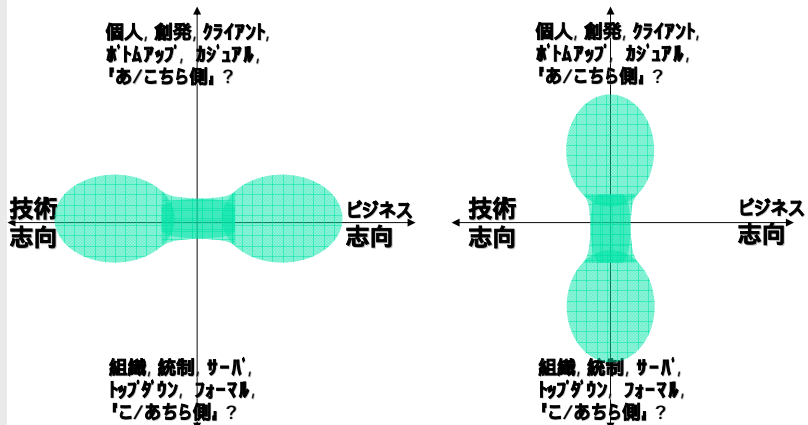
### Web2.0部会:

メタデータ活用から“Web2.0 for Enterprise”へ



2004～5年度

2006年度





- 各種サービスの試用、体感を通じて、EnterpriseにとってのWeb2.0のビジョンを描く
- 従来の企業情報システムの設計哲学と統合した利用原則、設計原則を導く
- そのためのプロトタイプ開発や、評価、類似技術の比較調査、アプリケーションのアイデア出しを行う。
- 特に、REST型と呼ばれる新しいシンプルなWebサービスとSOAP/WSDLベースのWebサービスとの使い分け、併用のガイドラインを中心に、“Web2.0 for Enterprise提言書”にまとめる
- Ajax的技術、マッシュアップ、microformats、Web2.0的ポータル、などの各技術要素の研究、試作・評価、アプリの探求
- XBRL等とのメタデータ相互変換・流通やRSSマーケティング等、ビジネス・シナリオを意識した適用シーンの考案、議論
- 上記の活動を具体的に担うWeb2.0的コミュニティの形成



### 背景と活動目的

#### 印刷出版業界の新しい動き

- インターネットを含む多様なメディアへ出版の知識と技術を向上させる動き
- 要素技術にはXMLも含まれ、メタデータの活用も現実的に。

#### XML普及啓発の一助に

- 日本印刷技術協会 (JAGAT)と協力関係を構築
  - 印刷出版業界の現実を見据えた堅実な活動
- +
- XMLコンソーシアムが考えるXML活用方法の提示

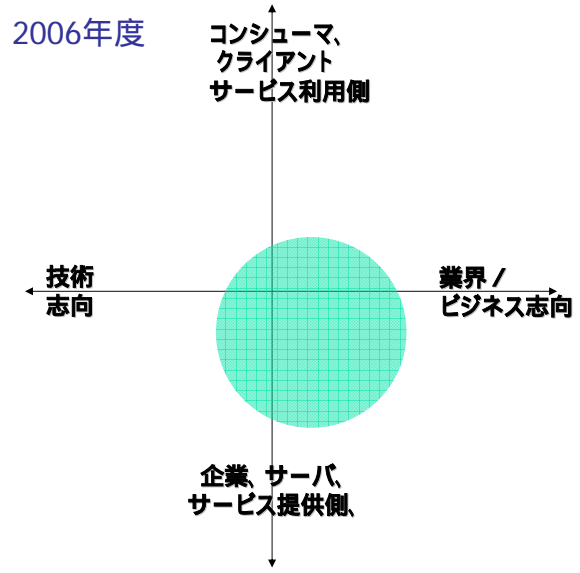
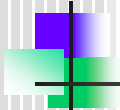


- JAGATクロスメディア研究会との交流 (7~9月)
- 印刷出版業界で利用されているXMLの調査 (10~11月)
- 印刷出版業界の仮想顧客を想定し、XMLの活用を提案書形式にまとめる (12~1月)
- XMLコンソーシアムが考える今後の印刷出版業界でのXML活用方法を提示 (2~4月)

**メンバー求む!**

- 印刷出版業界に関連する方もしくは興味のある方
- 提言書などの執筆に協力できる方、絵図の描画が上手な方
- 電話会議あるいはチャット会議などでの、コミュニケーション確立に協力してくれる方

fujiwat@est.co.jp まで

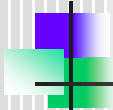




## SOA部会



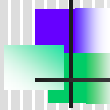
サービスの記述、発見、合成、実装に関する規格・技術の調査  
SOAによるプロセス統合、B2B、EC等の実現事例の収集と分析  
SOAやWebサービス関連ツールや開発環境、実行環境の調査  
SOAの意義の認知や普及のための情報の発信  
SOA実現に必要なノウハウ、アーキテクチャパターン、デザインパターンの収集と蓄積  
ビジネスモデルの定義からWebサービスによる実装に至るSOA適用シナリオの作成  
AJAXやリッチクライアントなどの技術のトレンドとSOAとの関連の調査



## ビジネス・イノベーション研究部会



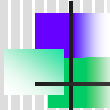
ビジネスモデル定義方法、ビジネスプロセス・モデルリング手法の研究  
- ビジネスプロセス & サービスのモデリング手法 (2005年度) の取りまとめ  
  
ビジネスアーキテクチャからシステムアーキテクチャの関連付け方法の研究  
- UML/BPMN研究会、SOA部会連携によるモデリング手法の実践  
  
エンドユーザ主導の情報活用の形態と必要な技術の研究  
- EUP(End User Programing)技術現状調査



## セキュリティ部会



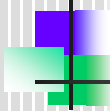
- 活動の目的
  - XMLセキュリティ技術のビジネスシステムへの適用に向けて、規格の調査・翻訳・解説を行ない、また、アプリケーションモデルの検討・試作を通じてシステム構築における様々な問題点の解決方法や具体的な実装ノウハウを蓄積すると共に、それらの成果物を公開することによりセキュリティ技術の普及を促進させるべく活動を行なう。
- 活動の内容
  - セキュリティ規格の調査、解説
  - セキュリティ規格文書の翻訳
  - ビジネス適用事例の調査、収集
  - 開発ツール、ミドルウェア等の調査および比較検討
  - モデルの構築とアプリケーションの検討
  - 試作による技術検証



## セキュリティ部会



- これまでの活動実績
  - 標準規格文書の翻訳、公開
    - OASIS Web Services Security 1.0 日本語翻訳  
<http://www.xmlconsortium.org/wg/sec/wss.html>
    - OASIS Web Services Security: SOAP Message Security 1.0 (WS-Security 2004) 日本語訳
    - SOAP Message Security 1.0 (WS-Security 2004) Errata 1.0 日本語訳
    - Username Token Profile 1.0 日本語訳
    - Username Token Profile 1.0 Errata 1.0 日本語訳
    - X.509 Certificate Token Profile 1.0 日本語訳
    - SAML Token Profile 1.0 日本語訳
  - 標準規格及び関連技術の調査、解説
  - XMLコンソーシアムセミナーの企画提案
  - 外部団体主催セミナーでの講演
    - JavaOne Tokyo 2005 「Webサービスのベストプラクティス」
  - sPlat (Webサービス実証部会との合同による有志プロジェクト)
    - Webサービスにおける暗号化XMLデータの取り扱いに伴う問題点とその対策についての検討  
<http://www.xmlconsortium.org/release/pdf/px060406-security-project-final2.pdf>
    - 暗号化XMLデータの妥当性検証とデータバインディング
- 新年度の活動内容
  - 標準規格文書の翻訳
  - 標準規格及び関連技術の調査、解説
  - sPlat (前年度より継続)



## Webサービス実証部会 ( 1 / 3 )



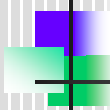
XML Consortium

活動目的/内容は基本的に2005年度と同様(テーマや対象技術は変えていく)

**活動目的** WebサービスおよびXMLに加え、Web2.0の要素技術であるREST, Microformats, Ajaxなどを実システムに適用するにあたり、実ビジネスを想定したプロトタイプシステムの開発を通して、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見、公開し、XML/Webサービス利用技術の向上および普及に努める。

- 活動内容**
- ◆プロトタイピング
    - ✓実用システムのプロトタイプ開発
    - ✓要素技術が抱える課題を解決する手法/方式の提案とプロトタイプ開発
    - ✓XML応用規格を利用したプロトタイプシステム開発
  - ◆XML/Webサービス関連プロダクトの評価
  - ◆XML/Webサービス応用技術の普及・推進
    - ✓定例セミナー・総会等での発表
    - ✓学会、雑誌等での発表
    - ✓Webページによる情報の発信
    - ✓製品紹介セミナーの開催

- 活動方法**
- ◆メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
  - ◆他部会、他団体との連携

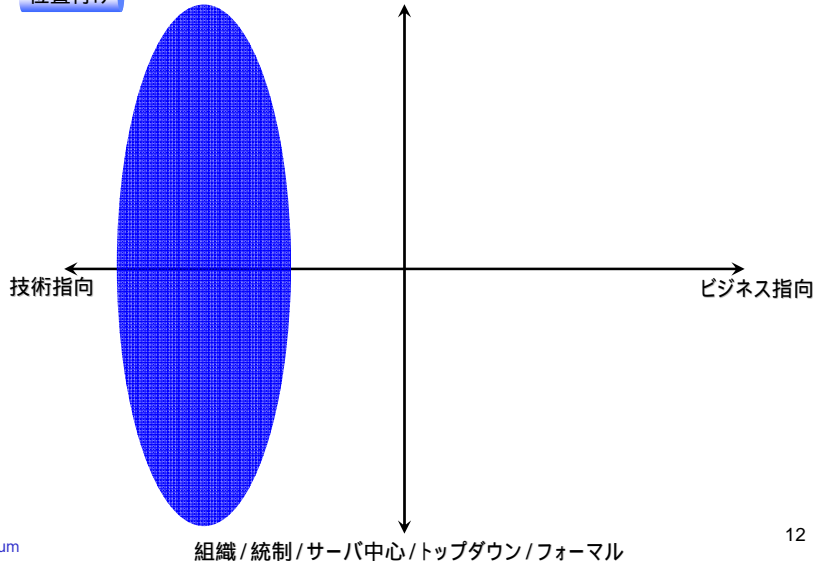


## Webサービス実証部会 ( 2 / 3 )



XML Consortium

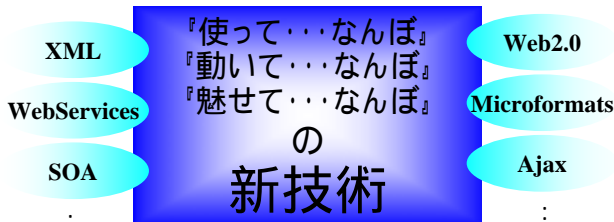
**位置付け** 個人/創発/クライアント中心/ボトムアップ/カジュアル



## Webサービス実証部会 (3 / 3)



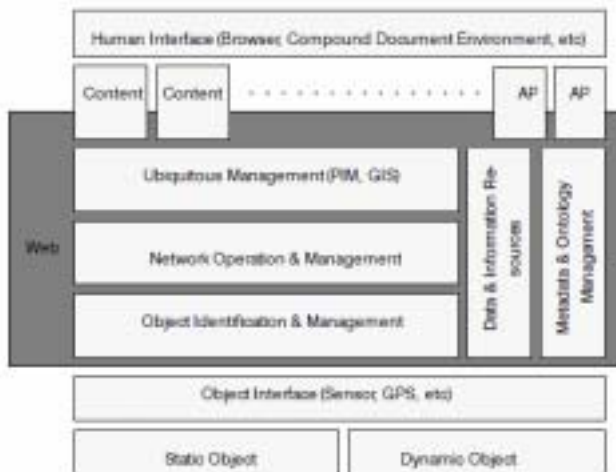
- 活動方法**
- ◆メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
  - ◆他部会, 他団体との連携
- 活動成果**
- ◆XML関連情報・ノウハウの取得
    - ✓メンバー間での最新技術情報交換、開発ノウハウ共有
    - ✓各企業の製品を利用するきっかけ
    - ✓参加企業間での技術/ビジネス情報交換、人的ネットワーク構築
  - ◆情報公開
    - ✓プロトタイプシステムや技術情報の公開
    - ✓学会、雑誌などでの発表
- 体制(案)**
- ◆リーダー : 松山 憲和 (PFUアクティブラボ株式会社)
  - ◆サブリーダー : 大場 みち子 (株式会社 日立製作所)  
松永 豊 (東京エレクトロン株式会社)

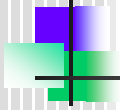


## ユビキタス・組み込み系部会



- 2005年度成果: モデルの提案

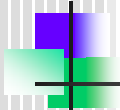
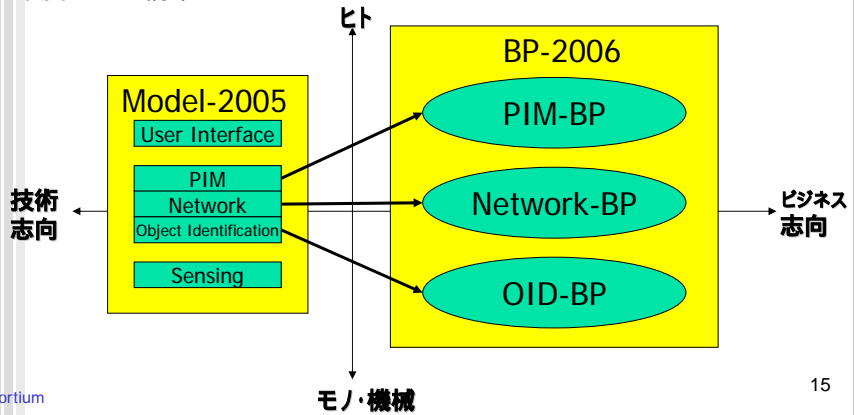




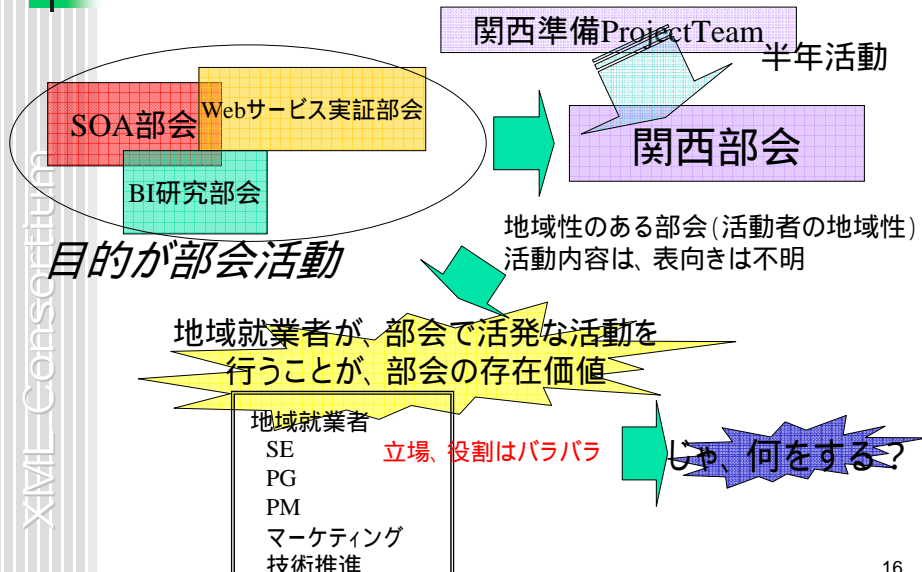
2004～5年度

2006年度

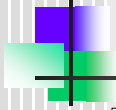
- 2004年度：サーベイ、カテゴリ分類
- 2005年度：モデル構築
- 2006年度：ベストプラクティス



## 関西部会とは？







# 関西部会目的



XML Consortium

## 関西部会

目的に応じた部会ではなく、地域での活動を目指した部会

## 活動目的

関西で活動を行える会員間での、情報交換と交流  
XMLを核とした情報交換を中心に地域で就業者を中心に活動  
活動を通じて、関西でのXML、Webサービス、SOA、Web2.0等の  
XMLに関連する技術の普及

## 2006年度の活動

2005年度活動基盤: 部会活動の活性化  
継続部会活動基盤 : 新メンバーの増加  
: 共有情報の公開



# 2006年度の活動方針



メンバーの新たなスキルアップ

新規メンバーも  
から取り組める

技術情報の共有

本年度の重点課題

活動メンバーの増加

## 2005年度の主な実績

- XMLを応用したシステム構築事例の収集と分析:  
「どこで使ってますねん」
- Web2.0的地図/スケジュール共有サービスの実装:  
「どこで何してますのん?」
- コミュニケーションTOOLを活用した情報共有試用:  
「こういう風に活動してますねん」



開発試用基盤の提供、活用  
Web2.0的アプリケーション Webサービス  
情報共有基盤の提供、活用  
数種コミュニケーションTOOL  
活用事例収集結果の提供  
事例用語、事例分析

情報共有

新規活動者が、気軽に参加し、スキルを向上  
参加者が、活動内容を企業でも活用

安定した活動基盤作成

- 日時: 6月20日 13:00 ~
- 場所: 日本ユニシス様 関西支社
- 内容: ゲスト講演  
関西部会活動報告拡大版  
Web2.0的アプリケーション  
事例収集・独自分析  
関西部会紹介

## TravelXML標準化部会



### 活動目的

旅行者、交通機関、宿泊施設、各種サービス機関との間で行われる、取引情報について、業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的とした電子商取引情報のXMLによる標準化提案を目指します。また特にパッケージ旅行商品に関する扱いについてのサポートを第一義の目的として検討します。

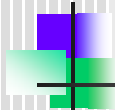
### 活動内容

旅行業業界商取引のXML標準化情報 (Travel XML) の普及・啓発活動

- Webページ等による情報の発信
- XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

必要に応じて以下の活動を行う。

- 旅行業業界における商取引についての調査と要件把握
- 旅行業業界における商取引のXML標準の改善検討



### 去年度の実績 標準

- TravelXML Version 1.3 仕様(勧告)
- TravelXML Version 1.4 仕様(勧告案)

### 報道発表

- 2005.5.12  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.3」勧告を発表
- 2005.10.27  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」「TravelXML」全範囲のXML Schema作成を完了し、  
コンソーシアムDay/WEEKでの発表
- 2005.6.9  
旅行業業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.3 - の開発状況
- 2005.12.15  
旅行業業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.4 - の開発状況